

**地方独立行政法人明石市立市民病院**  
**平成23事業年度に係る業務実績に関する評価結果**

**平成24年8月**

**地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会**

## 目 次

はじめに	1 頁
1 評価方法の概要	1 頁
2 全体評価	2 頁
(1) 総評	
(2) 評価にあたって考慮した事項	
(3) 評価にあたっての意見、今後に向けての提言等	
3 項目別評価（大項目評価）	
3-1 「市民のための病院としての役割の明確化」	5 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-2 「市の『安心の医療確保政策』に基づく医療機能の整備」	6 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-3 「利用者本位の医療サービス」	7 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-4 「医療の質の向上」	8 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-5 「地域とともに推進する医療の提供」	8 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-6 「総合力による医療の提供」	9 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-7 「医療職が集まり成長する人材マネジメント」	10 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-8 「経営体制の確立」	10 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-9 「業績管理の徹底」	11 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-10 「安定した経営基盤の確立」	12 頁
(1) 評価結果	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
4 小項目評価	

別紙「平成 23 事業年度に係る業務実績の小項目に関する評価結果について」を参照

## はじめに

地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、平成24年4月27日に策定した「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価の方針」により、地方独立行政法人明石市立市民病院（以下「法人」という。）の平成23事業年度に係る業務実績について総合的な評価を実施した。

### 地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会 委員名簿

	氏名	職名
委員長	明石 純	医療経営学研究所 所長
副委員長	日下 孝明	明石市医師会 顧問
委員	千原 和夫	兵庫県立加古川医療センター 院長
	野並 葉子	兵庫県立大学 看護学部 教授
	橋 和良	公認会計士

## 1 評価方法の概要

### （評価の基本方針）

- (1) 法人が「患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える」という基本理念を実現するため、提供するサービスその他の業務の質を向上させるとともに、業務運営の改善及び効率化を進め、財務内容の改善に資することを目的に評価を行う。
- (2) 法人の中期計画及び年度計画の実施状況を確認・分析し、明石市が示した中期目標をどの程度達成したかという観点から、実施状況や進捗状況を総合的に評価するものとする。
- (3) 数値実績のみにとらわれることなく質的要素にも着目して評価を行うものとする。また計画に記載していない事項であっても特色ある取組や様々な工夫については積極的に評価する。
- (4) 地域の医療状況や診療報酬改定など止むを得ない環境変化があった場合には、それに配慮して柔軟に評価するものとする。
- (5) 評価を通じて、中期目標の達成状況や法人の取組内容等を市民等にわかりやすく示すものとする。
- (6) 評価の方法については、社会情勢や環境の変化などを踏まえ、より適切なものとなるよう必要に応じて見直しを行う。

### （評価の方法）

評価は、法人が業務実績について自己評価し、作成した業務実績報告書に基づき、「項目別評価」及び「全体評価」により実施した。

「項目別評価」では、法人から提出された業務実績報告書をもとに、法人からのヒアリング等を通じて、法人業務の実施状況を確認、分析を行ったうえで、業務の進捗状況及び特記事項の内容等を総合的に勘案して、5段階で評価した。

「全体評価」では、項目別評価の結果を踏まえつつ、法人化を契機とした病院改革の取組（法人運営における自律性、機動性の発揮、財務内容の改善など）を考慮しながら、中期計画の実施状況や進捗状況について記述式で総合的に評価した。

## 2 全体評価

### 評価結果「中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる」

#### (1) 総評

地方独立行政法人に移行して初年度にあたる平成23年度は、実質的には10月からの6カ月間であるが、すでに年度当初より法人化を見据えて業務改善や組織体制の整備の取り組みが開始されている。そうしたなか、当該事業年度の業務の実施状況や進捗状況を中期目標・中期計画に照らし合わせて総合的に判断した結果、全体として計画どおりに進んでいると認められる。

特に、法人化に際しては、理事長はじめ経営陣がリーダーシップを発揮できる体制づくり、事務部門を中心とした組織の再編成、法人職員の積極的な採用などによって自律的な経営を目指すなど、形式的に地方独立行政法人に移行するのではなく、本来のあるべき法人の姿に向かう姿勢は高く評価できる。

また、中期計画や年度計画を単に策定するだけにとどめず、病院各部門の実際の活動にリンクさせるためにBSC（バランスト・スコアカード）の導入が図られている。本格的な活用は平成24年度以降であるがその効果を期待したい。

市民病院の機能として求められる救急医療については、前年度と大差のない診療体制の中で、救急患者の受入れ件数が前年度より大幅に増加していることは評価に値する。

経営状況については、医師数が目標に届かなかったことから、入院患者数が目標値を下回ったために入院収益が目標値に届かなかったものの、外来収益が目標を上回ったことや、費用の削減により、純損益は目標を約9千万円上回っている。ただし、安定した経営基盤の確立には、さらなる努力を続ける必要がある。

#### ① 市民に対して提供するサービスその他業務の質の向上

紹介率、逆紹介率は上昇傾向にあるものの紹介率については目標に達しておらず、地域医療支援病院の指定取得に向け、なお一層の努力が必要である。市と連携した新型インフルエンザ対策訓練の実施や、救急医療等の政策医療の積極的な取り組みは高く評価できる。

医療機能の整備では、心疾患や救急医療は計画を上回る状況にあるものの、その他の診療科で人材不足等の問題があるため、さらなる診療体制の充実を図る必要がある。

また、インフォームド・コンセントの充実や退院支援の強化、施設改善などの活発な取り組みは、医療サービスや医療の質の向上につながるため効果的である。

地域医療機関との連携強化に努め、オープン検査や登録医制度の導入などにも積極的に取り組んでいる。

#### ② 業務運営の改善及び効率化

医療職の採用状況が厳しいなか、奨学金制度の導入や関連大学など医療職養成機関との連携強化は、次年度以降の医療職の確保につながる様々な取り組みとして評価できる。

看護部長を副院長としたことで、職員の多数を占める看護職員に法人の運営方針や現状をより深く周知することができ効果的である。

理事会のもとに運営会議や管理会議等の諸会議を体系的に位置づけたほか、事務部門を管理本部と医療支援部に分割してそれぞれの役割を明確にしたことや、事務職員については、法人職員の採用が計画を上回ったことについては評価できる。なお、今後は専門性向上のための人材育成が必要になる。

### ③ 財務内容の改善

医師の確保が困難な中で可能な範囲での診療体制の充実を図りつつ、収益の確保と経費削減に努めた結果、病院の収支改善が進んだことについては評価できる。

しかしながら、今なお厳しい財務状況であり、さらなる収支改善が不可欠であることを法人役職員全員が強く認識する必要がある。

## (2) 評価にあたって考慮した事項

地方独立行政法人になって半年の段階であり、評価にあたっては実績や成果だけでなく、病院の経営や運営における体制面の整備や取り組み状況、職員の意欲等を考慮した。

なお、第1期目ということで、評価にあたっては病院側の今後の計画遂行のモラル低下を招かないように配慮した。

## (3) 評価にあたっての意見、今後に向けての提言等

平成22年度診療報酬改定から高度専門医療を実施する急性期病院は、病院収支が改善傾向にあることから地域の基幹病院に位置づけられる明石市立市民病院も今後の収支改善を期待したい。

また、法人化初年度である平成23年度は、医療提供体制の充実を大きな目標としていたが、医師確保に関して厳しい現実があるものの、ある程度の確保の見通しが立ちつつあるということで今後の推移を見守りたい。

なお、今後は以下の事項に対しても十分配慮する必要がある。

- 1) 院内連携、院外の病病連携及び病診連携は、地域医療の核であるということをすべての職員の共通認識とすること。
- 2) 医療職等の人材の確保の見込みが立てば早急に病床を回復させること。
- 3) 紹介率、逆紹介率が常に地域医療支援病院の条件を上回るために、医師会への働きかけを積極的に行い、丁寧な対応に努めること。
- 4) D P C（診療群分類別包括評価）を実施する病院のメリットを活かすように工夫をすること。
- 5) 地域住民や医療関係者、産業関係者などのステークホルダー（利害関係者）からの意見を取り入れて経営に活かすこと。

他の医療機関や市民のために正規時間外のCT・MRI検査や生理検査を実施するなど職種を越えて協力し合うという姿勢が生まれ、地域医療連携推進のために地元医師会との定期的な意見交換会の設定、病院医事に精通した職員の採用など、病院運営のある

べき姿に向けての改革は着実に進みつつあるように感じる。

引き続き、明石市の中期目標に基づいて評価委員会等のガバナンスのもと、経営陣がさらなるリーダーシップを発揮し、職員の帰属意識を高めてより良い法人組織にするとともに、高度な総合的医療と救急医療や小児医療等の政策医療など、明石市民の安心の医療ニーズに沿った市民に信頼される市民病院を目指した改革を期待したい。

### 3 項目別評価（大項目評価）

大項目評価については、小項目の評価結果を踏まえながらも、あくまで中期目標・中期計画の当該年度の実施状況や進捗状況の観点から総合的に判断し、次の5段階による評価を行うものとする。従って、小項目評価の単純集計と大項目評価が整合しない場合もあり得る。

#### <大項目の評価基準>

（「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価の方針」より）

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて計画を大幅に上回って進んでいる。
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて計画をやや上回って進んでいる。
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりに進んでいる。
- C：中期目標・中期計画の達成にはやや遅れている。
- D：中期目標・中期計画の達成には大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある。

#### <小項目の評価基準>

（「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価の方針」より）

- 5：年度計画を大幅に上回っている。
- 4：年度計画を上回っている。
- 3：年度計画どおりである。
- 2：年度計画を下回っている。
- 1：年度計画を大幅に下回っている。

#### 3-1 「市民のための病院としての役割の明確化」

##### (1) 評価結果 B（計画どおりに進んでいる）

市と連携し新型インフルエンザ対策訓練の実施や救急医療に積極的に取り組んでいる。また、回復期リハビリテーション病棟を開設し診療体制を整えており、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S	A	B	C	D
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

#### 【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 高度な総合的医療の提供			●		
2 地域医療支援体制の構築			●		
3 市と連携した政策医療の実施			●		
4 市内で不足する機能の補完			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・市民病院は救急医療の基幹病院として、今後も努力を続けていただきたい。
- ・紹介率は目標値に届かなかったものの、登録医制度の導入や救急体制の整備など積極的に取り組んでいる。
- ・紹介率向上のため医師会協力のもと、開業医と相互に協力することが必要である。
- ・市と連携した新型インフルエンザ対策訓練の実施や、救急医療の積極的な取り組みは評価できる。
- ・回復期リハビリテーション病棟を開設し診療体制は整備されているが、その利用については院内だけに留まらず、院外からも受け入れることが必要である。

(特筆すべき事項)

明石健康福祉事務所や明石市と連携して、毎年新型インフルエンザ対策訓練を積極的に実施している点は評価に値する。

3-2 「市の『安心の医療確保政策』に基づく医療機能の整備」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

呼吸器系疾患の常勤医師の確保はできていないが、救急医療に関しては目標値を上回る救急の受け入れ件数となっている。市の「安心の医療確保政策」に基づく医療機能の整備といった観点では、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S 計画を大幅に 上回って進ん でいる	A 計画をやや上 回って進んで いる	B 計画どおりに 進んでいる	C やや遅れてい る	D 重大な改善す べき事項があ る

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 がん			●		
2 脳血管疾患			●		
3 心疾患		●			
4 周産期・小児医療			●		
5 消化器系疾患			●		
6 呼吸器系疾患				●	
7 救急医療		●			

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・がんの担当医が不足しているため、医師数増加のための改善や努力が必要である。また、平成24年4月に認定された「がん診療連携拠点病院に準じる病院」として、今



後は新たな取り組みが進んでいくことを期待する。

- ・脳血管疾患では、現状の医師数でやれる範囲で頑張ってもらいたい。
- ・循環器内科の常勤医が1名増え6名体制になったことで、心臓カテーテル検査及びPCI件数が増加し、24時間オンコール体制による循環器疾患の救急診療が実施できている。
- ・他の疾患等に比べて、救急診療体制が充実していることや検査件数・手術件数が増加していることから年度計画を上回っている。
- ・さらなる取り組みを進めていくには、心臓血管外科（他病院）との連携した取り組みが必要である。
- ・産科の入院は前年度を下回るものの、医師が増える予定もあり、今後は手術件数も増えていくことを期待する。
- ・小児科ではマンパワーの問題はあるものの、最低の人員で頑張っていることは評価できる。今後はさらなる医師確保に努めてもらいたい。
- ・呼吸器系疾患では非常勤医師1名の体制なので、できる限り早急に常勤医師を確保する必要がある。
- ・消化器内科医1名確保したことで内科系救急診療が拡充し、救急車受け入れ件数が増加して目標値を上回ったことは評価できる。
- ・市民病院は、明石市内の救急搬送全体の13%を占め、市内で2番目となっている。今後も継続して努力を続けてもらいたい。

**(特筆すべき事項)**

医師数が不足している状況下において、救急患者受け入れ数は増加しており、目標値を上回っている。少ない人員数での救急医療現場における対応は評価できるものがある。

**3-3 「利用者本位の医療サービス」**

**(1) 評価結果  B (計画どおりに進んでいる)**

患者を中心としたインフォームド・コンセントの充実や退院支援の強化等、病院が実施した様々な取り組みは、今後改善の余地はあるものの、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S	A	B	C	D
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

**【小項目評価の集計結果】**

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 医療における信頼と納得の実現			●		
2 利用者満足度の向上			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・アンケート等のフィードバックに課題は残るものの、アンケート等に基づく各種の取り組みを積極的に行っているため、利用者の満足につながっている点は評価できる。

3-4 「医療の質の向上」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

病院機能の水準維持や医療事故、院内感染防止のための各委員会の開催等、積極的な取り組みはされており、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S	A	B	C	D
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 継続的な取組による質の向上			●		
2 医療事故や院内感染防止対策の徹底			●		
3 コンプライアンス（法令・行動規範の遵守）の徹底			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・医療事故や院内感染防止対策のための様々な計画については、積極的な取り組みがなされているものの、年度計画の域を脱していない。今後は新しい、もしくは斬新な取り組みの実施を期待する。

3-5 「地域とともに推進する医療の提供」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

オープン検査の導入や登録医制度、開放病棟の整備については、さらなる連携の強化が期待できる。また、公開講座の開催やホームページ等による情報提供にも積極的に努めており、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S	A	B	C	D
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 地域医療機関との連携		●			
2 地域社会や地域の諸団体との交流			●		
3 積極的な情報発信			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・紹介率が目標値に達していなかったものの、CT・MRI検査の時間外及び土曜日の実施や生理検査の土曜日実施は、職員の休日における対応を伴う事項であることから、実施への努力は大いに評価できる。
- ・フォーラムの開催や診療ガイドの配付、登録医制度の導入など、地域医療機関との連携に対する努力の姿勢が今後大いに期待できる。
- ・地域社会や地域の諸団体との交流では、「健康明石21」等の市民公開講座を例年どおり開催するなど、事業が計画どおり遂行されている。

(特筆すべき事項)

地域医療連携を図るうえで、オープン検査の実施、CT・MRI検査の時間外及び土曜日の実施や生理検査の土曜日実施は評価できる項目である。特に職員の休日における対応を伴う事項であり、実施への努力は評価できる。

3-6 「総合力による医療の提供」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

病院の総合力による協働したチーム医療の推進、またスムーズな部門間連携の実現に向けた取り組みがなされており、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S	A	B	C	D
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 チーム医療と院内連携の推進		●			
2 情報の一元化と共有			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・NST（栄養サポートチーム）や緩和ケア、回復期リハビリテーションなどの積極的  
活動は評価できる。
- ・チーム医療等については、医師以外も積極的に委員会をリードしていてもらいたい。

3-7 「医療職が集まり成長する人材マネジメント」

(1) 評価結果 B（計画どおりに進んでいる）

常勤医師数及び看護師数ともに目標値を達成できなかったものの、人材確保や人材育成に関して様々な取り組みを行っている。また、目標管理制度や業績連動報酬制度、業務成果手当を導入しており、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S 計画を大幅に 上回って進ん でいる	A 計画をやや上 回って進んで いる	B 計画どおりに 進んでいる	C やや遅れてい る	D 重大な改善す べき事項があ る
------	------------------------------	-----------------------------	----------------------	------------------	----------------------------

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 医療職の確保			●		
2 魅力ある人材育成システム			●		
3 人事制度の整備			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・医療職の確保ができていないところもあるが、法人化後の最初の1、2年は人員体制の構造を構築することが重要である。その点については、非常に努力していると考えられるが、今後は医療職確保の成果を求めていきたい。
- ・専門資格に対する手当の新設や業務成果手当等は、職員のモチベーションの向上の効果が期待できる。

3-8 「経営体制の確立」

(1) 評価結果 B（計画どおりに進んでいる）

理事会のもとに運営会議や管理会議等の諸会議を体系的に位置づけたほか、医療支援部の新設やBSC（バランスト・スコアカード）の導入等により組織と管理運営体制の構築が図られている。また、事務職については計画を上回って法人職員を採用している。中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 役員の責務			●		
2 組織と管理運営体制の構築			●		
3 事務職の専門性の向上		●			

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・理事会体制としては整いつつある。今後、さらに機能するよう期待したい。
- ・医療支援部が新設されたことや、組織編成等の見直しがなされたことは評価できる。
- ・年度計画においては、段階的な法人職員の採用と体制の充実を図るということから、採用の面では計画を上回る成果が出ている。今後は事務職員の専門性向上のため人材育成に努力すべきである。

3-9 「業績管理の徹底」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

診療報酬改定に備え必要な施設基準等の届け出や「がん診療連携拠点病院に準じる病院」の認証に向けた取り組みを行うなど収益力の強化に取り組んでいる。

業績関係の各種数値及び指数については、入院患者数などで目標値に届かなかったが、診療単価（入院・外来）、平均在院日数では目標値を上回っている。また、医師不足による収益の増加が厳しい中、費用削減に努めている。中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
	計画を大幅に上回って進んでいる	計画をやや上回って進んでいる	計画どおりに進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 収支の改善			●		
2 管理体制の充実			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・収支の改善では目標を達成できた項目と未達成の項目があるが、未達成の項目については入院患者数や医師数が目標に届かなかったことがその原因である。しかしながら、耳鼻咽喉科等の医師不足による収益の増加が厳しい環境の中、医業収益においては他の診療科がカバーするほか、費用削減により目標を達成できた項目があることは評価できる。
- ・医業収益と人件費のバランスについて法人職員全体で認識し、改善に向けた取り組みが必要である。
- ・一般病棟の平均在院日数が15.3日から12.5日まで減っているにも関わらず、入院診療単価が少ししか上がっていない。
- ・今後は費用削減だけでなく、医師確保による医業収益向上に主軸をおいていく必要がある。
- ・DPCデータ分析などの診療実績管理、コストマネジメントの取り組みは行われている。今後、業績改善の成果を上げられるよう期待したい。

3-10 「安定した経営基盤の確立」

(1) 評価結果 B (計画どおりに進んでいる)

経常収支比率は96.8%となり、目標値の94.7%を達成していることから、中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおりの進捗であると考えられるため、「B」と評価する。

評価結果	S 計画を大幅に上回って進んでいる	A 計画をやや上回って進んでいる	B 計画どおりに進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある

【小項目評価の集計結果】

項 目	小項目評価				
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 安定した経営基盤の確立			●		

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ・安定した経営基盤の確立では、入院収益、外来収益等個々の項目で見ると目標値を達成していない項目もあるが、最重点目標である経常収支比率は達成している。

4 小項目評価

別紙「地方独立行政法人明石市立市民病院平成23事業年度に係る業務実績の小項目に関する評価結果について」を参照